



SKY Perfect JSAT
Holdings Inc.

株主通信

2015年3月期

第2四半期

2014年4月1日～2014年9月30日



さらなる成長軌道へ。
新しい楽しさと感動が、はじまります。

株式会社スカパーJSATホールディングス

TOP MESSAGE

株主の皆様へ

中期経営計画達成に向けて 変革と成長を 着実に実現しています。

2014年12月
代表取締役社長

高田 真治



2015年3月期第2四半期の業績

営業収益は微減、
営業利益は前年同四半期比17.7%の大幅増。
目標達成に向け着実に前進しています。

2015年3月期第2四半期の当社グループの実績は、営業収益は前年同四半期比0.5%減の823億円、営業利益は有料多チャンネル事業におけるコスト削減効果などの結果、前年同四半期比17.7%増の128億円となりました。

有料多チャンネル事業では、今年5月に「スカパー！プレミアムサービス」における標準画質サービスからハイビジョンサービスへの移行が完了し、ハイビジョンサービスの加入者が増えたことや、今年3月に販売開始した新商品「セレクト5」の導入、8月の欧州サッカーセットの商品改編等が奏功し、視聴料収入が増加しています。また、ハイビジョンサービスへの移行完了に伴って関連コストが減少したことから、大幅増益となりました。

宇宙・衛星事業においては、国際衛星通信サービスが増益だったものの、有料多チャンネル事業での標準画質放送終了にともなって放送トラボン収入*が減少したため、計画通りではありませんが減収減益となりました。

*放送トラボン収入:放送事業者からのトランスポンダ(衛星中継機)使用料収入。

2014年度下期の取り組み

来年3月、日本初の4K*商用チャンネルを開局します。

2014年度下期には、有料多チャンネル事業ではお客様の加入獲得に向け積極的な取り組みを推進しています。

まず、「BSスカパー！」では、10月4日に放送内容を大きく改編し、オリジナル連続ドラマやバラエティ番組、生放送で様々なチャンネルを紹介する番組など、「スカパー！」の持ち味を発揮する番組編成を行ないました。さらに、年末恒例の「年末年始一挙大放送」や、年度末のプロ野球やサッカーなどスポーツシーズ

ン開幕時期という新規加入者獲得の好機に向けては、販売促進活動を一層強化して臨みます。

また、今年の6月には「一般社団法人次世代放送推進フォーラム」による4K試験放送「Channel 4K」が開始され、秋には「スカパー！プレミアムサービス」対応チューナーが内蔵された4Kテレビが販売されるなど4K対応機器の普及が進む中、当社としても来年3月1日に日本初となる商用の4K専門チャンネルを2チャンネル開局する予定です。続いて4月以降できるだけ早くに「プレミアムサービス光」でも4K放送を開始する予定です。今後も“プレミアム”の名にふさわしいサービスの高度化を図り、お客様の満足度、利便性向上に努め、加入者基盤をより強固なものにしていきたいと思います。

宇宙・衛星事業でも、国内では底堅いBCP（事業継続計画）需要に対応しているほか、現在伸びている航空機・船舶などの移動体衛星通信サービスの拡大、今年10月に打上げられた気象衛星「ひまわり8号」による画像情報の国際配信サービスに、来年1月から当社衛星の利用が決まるなど、着実に新しい需要も取り込んでいます。

*従来のフルハイビジョンテレビの4倍の画素数をもつ次世代のテレビ放送

中期経営計画達成に向けた取り組み

中期経営計画達成に向けた新しいエンジンが動き出しています。

中期経営計画の最終年度となる2016年3月期においては、防衛省から受託している次期Xバンド事業*の着実な遂行が中期経営計画達成の大きな原動力となります。その他にも加入者基盤の維持・拡大やグローバル営業の伸長、さらなるコスト削減などの課題をクリアして、中期経営計画の達成を目指します。

また、中期経営計画達成後のさらなる事業展開を見据えて、日本コンテンツを海外に展開するWAKUWAKU JAPAN事業の早期収益化実現など、新規事業の推進にも積極的に取り組んでいます。

*防衛省・自衛隊が運用するXバンド通信衛星3機のうち2機を打上げ・運用する事業。Xバンド通信は8GHz以上の高周波数帯域を使う通信で、気象などの影響を受けにくく、高速・安定通信が可能。

株主還元

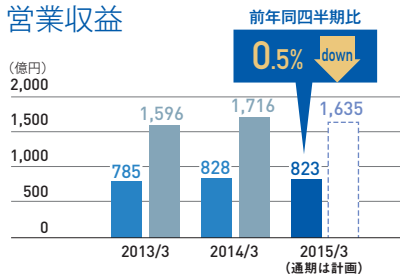
株主の皆様への利益還元につきましては、将来の成長へ向けた投資のための内部留保の充実と安定配当の継続を考慮し、2014年5月8日に発表しましたとおり、中間配当金は1株あたり6円をお支払いすることを決定いたしました。年間では1株あたり12円を見込んでいます。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

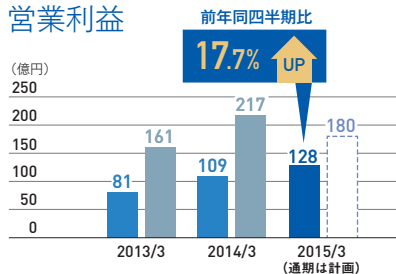
2015年3月期第2四半期

■ 通期 ■ 第2四半期

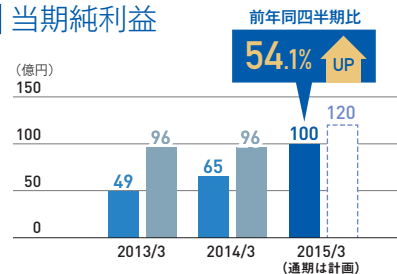
営業収益

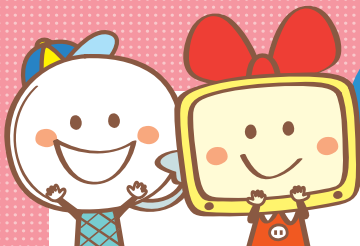


営業利益



当期純利益





株主の
皆様からの
ご質問に
お答えします。

ここが知りたい! Q&A

Q.1

4Kテレビに
プレミアム
サービスの
チューナーが
内蔵されると、
どうなるの?



A.1

リモコンのボタン一つでプレミアムサービスが視聴できる。
お客様の利便性をもっと向上します。

従来、「スカパー!プレミアムサービス」は、テレビにセットトップボックスや内蔵型レコーダーを外付けしてご視聴いただいていた。現在では、既にデジタルテレビにチューナーが内蔵されている「スカパー!」と、「プレミアムサービス」の共用アンテナが主流となってきたため、「プレミアムサービス」の受信機がテレビに内蔵されると、「プレミアムサービス」や4K放送がより簡単に視聴できます。



ココがポイント!

「スカパー!」サービスでは、受信機がデジタルテレビに内蔵されてから、デジタルテレビの普及に応じてサービスへの加入が大幅に伸びたという実績があります。今後は4Kテレビの普及に伴い「プレミアムサービス」の伸びも期待できます。

Q.2

予備衛星は、
どのような働きを
するのですか?



A.2

どんな時にも途切れない、信頼性の高いサービスを
提供するために、予備衛星が必要です。

稼働中の衛星の故障やトラブルに備える衛星を軌道上予備衛星(バックアップ衛星)と呼びます。現在、当社はJCSAT-RAというバックアップ衛星を保有していますが、仕様上、この衛星1機では当社が保有するすべての衛星を迅速に救済することができないため、各衛星の仕様に柔軟に対応した新たな予備衛星としてJCSAT-16の打上げを決めました。これにより、さらに信頼性の高いサービスを提供することができるのです。

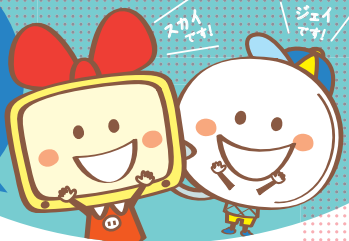


ココがポイント!

万が一後継機の打上げが失敗した場合には、衛星を再調達する必要があります。予備衛星があると、再調達にかかる期間を考慮して打上げ時期を早める必要がなくなるため、減価償却費が重複することもなくなり、信頼性を高めると同時に長期的にはコストの削減にもつながります。

[2014年度上期ハイライト]

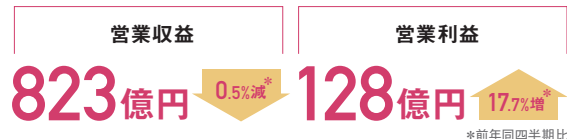
いろんなトピックスを
私たち、
スカJキッズが
ご案内します。



[2015年3月期第2四半期業績]

P.01

大幅増益を達成!



[特集Vol.2／なるほど! スカパーJSAT]

P.05

宇宙での事業基盤を強化します

通信衛星って、どうやって打上げるの?

宇宙・衛星事業の基盤を強化し、より安定した衛星通信サービスを提供するための新たな衛星打上げが決定。衛星を打上げるプロセスと、新しい衛星の役割についてご報告します。

[誌上見学会 第2回]

P.07

ようこそ! スカパー! カスタマーセンターへ

お客様の快適なスカパー!ライフをサポートする、コミュニケーションの拠点をご案内します。

お客様の
「時間」「期待」
「気持ち」を
大切にします

[有料多チャンネル事業]

P.09

ハイビジョンサービスへの 移行完了

5月末の標準画質サービスの終了にともない、2011年度から行ってきたハイビジョンサービスへの移行が完了しました。

3サービス累計加入者数
(10月末時点)

341.4万件

欧州サッカー商品を改編

8月、スカパー!とスカパー!プレミアムサービスの4つの海外サッカー商品を、「欧州サッカーセット」と「欧州&Jリーグセット」の2つに改編しました。これにより、年間を通してサッカー番組を楽しんでいただけます。

[宇宙・衛星事業]

P.10

航空機、船舶への 通信サービスの取り組み

機内Wi-Fiを可能にする航空機向け衛星通信サービスの販売や、船舶向けインターネット接続サービスOceanBBの拡販など、航空機・船舶向けのモバイル事業が拡大しています。

くわしくは、矢印のページをご覧ください。

このマーク! P.00



いいこと、いっぱい
半年でした。



宇宙での事業基盤を強化します

通信衛星って、どうやって打上げるの?

スカパーJSATは、16機の通信衛星を保有する「日本で唯一」かつ「アジア最大」の衛星通信事業者です。この事業基盤をさらに強化し、より安定した衛星通信サービスを提供していくために、今後4機の通信衛星を打上げることが決まっています。

/// 今後の打上げ予定 ///

■ JCSAT-14 (JCSAT-2A後継機)	2015年度上期
■ Superbird-8 (Superbird-B2後継機)	2015年度下期
■ JCSAT-15 (N-SAT-110後継機)	2016年度上期
■ JCSAT-16 (軌道上予備衛星)	2016年度上期

通信衛星の打上げプロセス(アリアン5ロケットの場合)

当社の通信衛星は、1989年3月7日のJCSAT-1号機の打上げから、25年間で20回の打上げを実施しています。通信衛星の代表的な打上げプロセスをご紹介します。

ロケットで宇宙に運ばれる通信衛星

通信衛星などの人工衛星は、ロケットに乗って宇宙空間へと旅立ちます。これまで当社が利用した打上げ会社の射場は、仏領ギアナや米フロリダなど赤道直下に程近い場所にあります。これは静止軌道へ突入するまでの燃料負担が少なく済むためです。ロケットで打上げられた衛星は、約30分で宇宙へ運ばれた後、高度約1,000kmでロケットから離れ、衛星が静止軌道に乗る前に一時的に投入される衛星トランスファー軌道へと入ります。

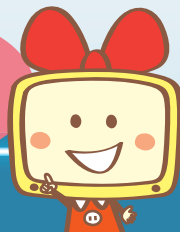
衛星本体のエンジンで 静止軌道へ投入!

衛星トランスファー軌道に投入された衛星は、衛星本体に取り付けられたエンジンを5、6回噴射し、地球を周回しながら約36,000km離れた静止軌道へ徐々に進んでいきます。

緻密なテストを経て、 約2カ月で運用開始へ

静止軌道に入った後は、打上げ前に地上で実施した試験で測定した性能を再現する軌道上確認試験や、通信系の試験を実施。試験終了後、実際の運用を行う軌道位置に衛星を移動させ、運用を開始します。打上げから運用までの準備期間は約2カ月です。

最初はロケットで、
次は自力で、
衛星軌道に
たどり着くんだね。





こうして打上げられた通信衛星は、衛星本体の調達コストに加え、ロケット会社へ支払う打上げ費用、万一打上げが失敗した場合に備えて付保する打上げ保険等を含めて固定資産に計上されます。これを設計期間(約15年)にわたって減価償却していきます。燃料が余れば設計期間を超えて運用することも可能です。燃料効率のよい衛星管制を行うことで衛星の寿命が延びるのです。

打上げにはリスクも伴うけど、万一のときは保険で打上げコストがカバーされるのね。

COLUMN

JCSAT-15、16の打上げサービスの契約を締結

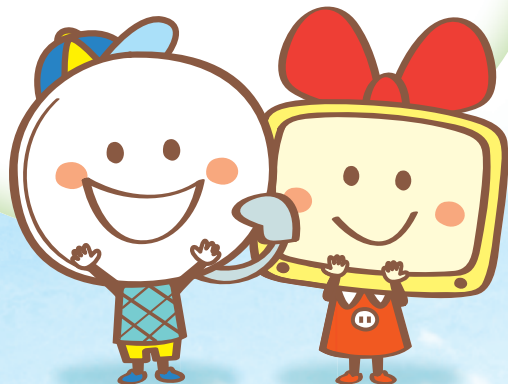
今後打上げが予定されている通信衛星JCSAT-15とJCSAT-16について、打上げサービスの契約を締結しました。JCSAT-15はフランスのアリアンススペース社、JCSAT-16はアメリカのスペース・エクスプロレーション・テクノロジー社のロケットで打上げます。

衛星の打上げはリスクも伴う一大イベントです。信頼性やロケットの性能、納

期、実績、価額など様々な要素を踏まえてロケット打上げ会社を選定しています。JCSAT-15は、「スカパー！」に利用されているN-SAT-110の後継機で、JCSAT-16は、当社のより安定した衛星通信サービスの提供と事業基盤の強化を目的に、日本全域をカバーする周波数帯KuおよびKaバンドの予備衛星の役割を果たします。

ようこそ! スカパー!

カスタマーセンターへ



誌上見学会

第2回

お客様の快適な スカパー!ライフをサポートする、 コミュニケーションの窓口です。

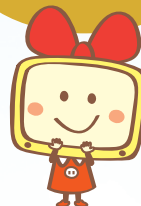
株主の皆様へ、スカパーJSATの拠点や、サービスの舞台裏をご覧ください誌上見学会。第2回は、グループ会社の株式会社スカパー・カスタマー・リレーションズが運営しているカスタマーセンターをご紹介します。



カスタマーセンターの業務とは?

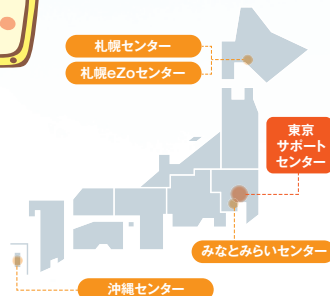
東京を中心に、**5つの拠点**を持つスカパー!カスタマーセンター。カスタマーセンターには、**一日平均約1万件の電話**があり、全国で**約1,200人のオペレーター**が対応しています。放送予定やTVCM、新聞広告、キャンペーン等の予定により入電量は大きく変化します。それを予測して、適正なオペレーターの席数を日々、また時間帯ごとに確保して、なるべく**お客様をお待たせしない**ようにしています。

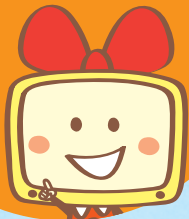
お客様をお待たせしないことも、サービスなのね。



おもな業務内容は大きく分けて3つあります

- ① **インバウンドコール業務** お客様からの各種お問い合わせ・手続きの対応を行います。
- ② **アウトバウンドコール業務** 新規のお客様を獲得するためにスカパー!からお電話します。
- ③ **事務処理業務** 加入・解約のお申し込みや、チャンネル変更などのご契約手続きの処理を行います。





カスタマーセンターはお客様が
スカパー!とつながる場所です。

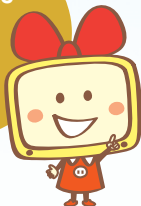
サービスの最前線でありたいという気持ちから、
当社のカスタマーセンターではお客様とお話するオペレーターを
CSR(お客様サービスの代表)*と呼んでいます。

お客様との平均通話時間は11分。

「早く正確に」お応えすることもカスタマーセンターの課題のひとつですが、
当社では**できるだけ長く**お客様とお話することで、
お客様の関心や真のニーズを汲み取って最適なサービスをご提案し、
お客様の期待に応えられるよう努めています。

※CSR(カスタマー・サービス・リプレゼンタティブ)

大切にしているのは
お客様の
「時間」、「期待」、
「気持ち」



ご見学の締めくくりに



契約内容など大切なお客様情報を保全する
ため、カスタマーセンターではプライバシー
マーク、ISMS(情報セキュリティマネジメント
システム)を取得しており、**個人情報を取り扱
うエリアの入退室や情報セキュリティは徹底
管理されています。**

厳しく管理
されているから
安心だね。



高品質とさらなる効率化の両立を目指します。

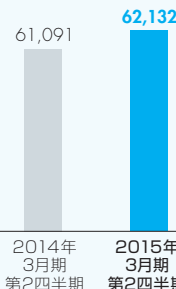
お客様に最適なサービスをお届けするため、カスタマーセンターでは構造改革を進めています。
中期経営計画で必達を目指したカスタマーセンターの運用経費削減は既に達成しています。
今後は、データ解析やお客様との会話をサポートする新たなwebツールの導入等により、高品質とさらなる効率化の両立を実現します。

有料多チャンネル事業

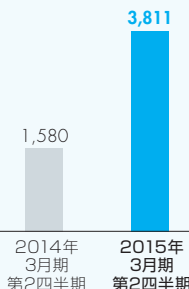
Multichannel Pay TV Business

標準画質サービスを終了し、ハイビジョンサービスへの移行が完了。
これに伴う視聴料収入の増加とお客様のハイビジョンサービスへの
移行にかかった費用等の減少により、増収増益を達成しました。

■ 営業収益
(百万円)



■ セグメント利益
(百万円)



2014年5月末に標準画質サービスを終了したことにより、2011年から注力してきたハイビジョンサービスへの移行が完了いたしました。また、2014年8月には欧州サッカーセットを再編いたしました。スカパー！サービスとプレミアムサービスとの価格差異をなくして商品体系をシンプルにすると同時に、Jリーグ商品と同様、放送契約があればタブレット端末等でお楽しみいただける「スカパー！オンデマンド」での無料視聴を可能とするなど、商品の魅力向上を図りました。さらに時代劇専門チャンネルと共同制作したオリジナル作品「闇の狩人」をBSスカパー！で先行放送するなどして加入者基盤の拡大を推進しました。

加入状況については、新規加入件数は前年同四半期比5.1万件減の19.1万件、解約件数は17.6万件増の51.7万件（うち標準画質サービス終了に伴う解約は25.2万件）、再加入件数を加えた純増数は27.4万件となり、累計加入件数は344.2万件となりました。

以上の結果、営業収益は、標準画質サービス終了に伴い業務手数料収入が減少したものの、一方でハイビジョンサービスの視聴料収入が増加したため、前年同四半期比1.7%増の62,132百万円、セグメント利益はハイビジョンサービスへの加入者移行費用等の減少により、141.2%増の3,811百万円となりました。

● 加入の状況

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期
新規加入件数		
スカパー！ 合計	24.3万件	19.1万件
スカパー！	21.2万件	16.6万件
スカパー！ プレミアムサービス	2.4万件	2.1万件
スカパー！ プレミアムサービス 光	0.7万件	0.5万件
純増数	△5.4万件	△27.4万件
累計加入件数	377.5万件	344.2万件
ARPU(¥)	1,964	2,214
SAC単価(¥)	31,388	34,346

トピック

BSスカパー！のリニューアル **BSスカパー！**

BSスカパー！は、チャンネルまたはバック・セット等のご契約により無料でお楽しみいただける“おまけ”チャンネルです。10月に放送内容をより魅力的に改編。地上波ではできない、強力なオリジナルコンテンツをラインナップ。また、スカパー！の数多くのチャンネルを毎日生放送で紹介する番組「ザップ！」では、新たなチャンネルに出会えます。

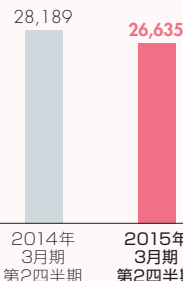
新しいBSスカパー！はBS241で見られます！

宇宙・衛星事業

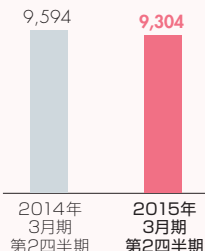
Space&Satellite Business

災害対策・BCP(事業継続計画)対策としての国内衛星通信需要の拡大に対応したほか、海外衛星ビジネスや船舶・航空機向けモバイル事業への取り組みを強化しましたが、標準画質サービス終了に伴う放送トランスポンダ収入の減少で減収減益となりました。

営業収益
(百万円)



セグメント利益
(百万円)



国内衛星通信においては、官公庁を中心とした、防災やBCP対策としての衛星通信需要を取り込み、災害時に信頼性の高いネットワークの提供が可能なEsBirdやExBirdなどの衛星通信サービスを積極的に販売しました。海外衛星ビジネスについては、国際的なビジネス展開の企画・立案を行う「グローバル企画部」を7月に新設しました。モバイルビジネスについては、JSAT MOBILE Communications株式会社がOnAir社との提携を通じて航空機向けインマルサット衛星通信サービスSwiftBroadbandの販売に注力しました。さらに船舶向けインターネット接続サービスOceanBBの拡販により、船舶向けモバイル事業の拡大にも取り組みました。

その結果、営業収益は国際サービス収入が増加したものの、スカパー！プレミアムサービスにおける標準画質サービス終了に伴う放送トランスポンダ収入等の減少により、前年同四半期比5.5%減の26,635百万円、セグメント利益は3.0%減の9,304百万円となりました。

サービス解説

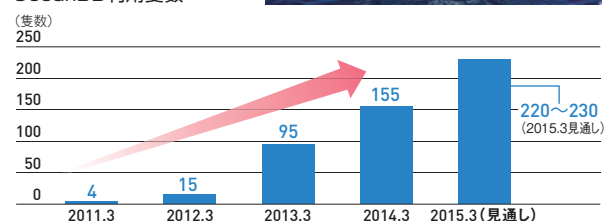
海洋ブロードバンドサービスOceanBB

OceanBBは、船上に設置した船舶用衛星通信システムと陸上のビジネス拠点を接続するサービスで、当社がカバーするインド洋、アジア、オセアニア海域に加え、海外事業者との提携により、太平洋、大西洋、地中海、カリブ海等の海域までグローバルなサービスエリアに対応しています。従来の船舶通信と比較して遙かに高速な通信速度サービスを定額で提供できるため、船陸間の業務利用はもちろん、客船でのお客様向けサービスの向上や、乗組員の福利厚生の一環として利用されています。

海洋ブロードバンドサービス
OceanBB
オンボードサービス



OceanBB利用隻数



連結財務諸表

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2014年3月期 第2四半期 (4/1~9/30)	2015年3月期 第2四半期 (4/1~9/30)	(参考)2014年3月期 通期 (4/1~3/31)
営業収益	82,804	82,381	171,683
営業原価	54,128	52,561	111,252
営業総利益	28,676	29,819	60,430
販売費及び一般管理費	17,772	16,988	38,717
営業利益	10,903	12,830	21,713
営業外収益	354	293	634
営業外費用	375	362	817
経常利益	10,881	12,761	21,529
特別利益	74	989	78
特別損失	10	197	3,064
税金等調整前当期純利益	10,945	13,554	18,543
法人税等合計	4,445	3,539	8,960
少数株主損失(△)	△27	△42	△76
当期純利益	6,527	10,056	9,659

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2014年3月期 第2四半期 (4/1~9/30)	2015年3月期 第2四半期 (4/1~9/30)	(参考)2014年3月期 通期 (4/1~3/31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,760	11,365	33,345
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,221	△13,212	△18,969
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,871	△11,545	△25,444
現金及び現金同等物の期末残高(a)	86,392	50,334	63,783
有利子負債期末残高(借入金+無担保社債)(b)	50,740	36,827	45,994
純有利子負債期末残高(b)-(a)	△35,651	△13,506	△17,789

1

ハイビジョンサービスへの加入者移行費用の減少や、衛星減価償却費の減少で17.7%の増益となりました。

2

グループ内組織再編による一部子会社の繰越欠損金が回収可能となったことや、過年度に計上した投資有価証券評価損の一部を損金に算入したことで実効税率が下がり、54.1%の増益となりました。

3

今後打上げ予定の4機の衛星調達が始まっていることにより、前年同四半期に比べて支出が69億円増えました。

4

2014年9月に社債200億円を償還したことから、財務活動による支出が前年同四半期に比べて86億円増加し、流動負債が前期末に比べて283億円減少しました。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

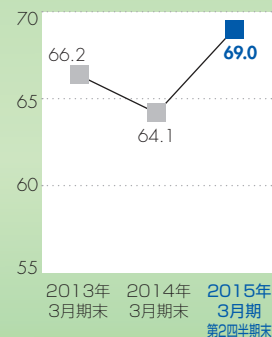
	2014年3月期	2015年3月期	(参考)2014年3月期
	第2四半期末 (9/30)	第2四半期末 (9/30)	期末 (3/31)
資産の部			
流動資産	119,741	96,646	109,908
固定資産	179,681	182,027	177,672
有形固定資産	137,129	146,354	140,347
無形固定資産	11,516	13,756	10,704
投資その他の資産	31,034	21,916	26,620
資産合計	299,422	5 278,674	287,580
負債の部			
流動負債	73,149	4 45,841	74,238
固定負債	27,922	40,370	28,662
負債合計	101,072	86,212	102,900
純資産の部			
株主資本	196,925	191,004	182,793
資本金	10,000	10,000	10,000
資本剰余金	158,193	158,193	158,193
利益剰余金	32,615	41,938	33,728
自己株式	△3,883	△19,128	△19,128
その他の包括利益累計額	1,050	1,178	1,558
少数株主持分	374	279	327
純資産合計	198,350	5 192,462	184,679
負債純資産合計	299,422	278,674	287,580

5

四半期純利益等による利益剰余金増加で前期末と比べて純資産が増加。自己資本比率では4.9ポイント増加となりました。

自己資本比率

(%)



第8回株主様アンケートご協力のお願い

昨年度に引き続き株主様アンケートを実施させていただきます。

ぜひ、皆様の株式投資に関するお考えや当社グループへのご意見をお寄せください。

今後の経営およびIR活動の参考とさせていただきます。

回答方法は下記のいずれかの手順にてお願いいたします。

はがき

同封のはがきにご記入いただき、郵便ポストに投函してください。

ご回答
メ切

2015年1月5日(月)
到着分まで

ウェブ

当社ウェブサイトアクセスし、株主様アンケートのバナーをクリックしてください。アンケートサイトに移動しましたら、郵送された株主通信に記載のログインIDをご入力いただき、回答をお願いいたします。

URL : <http://www.skyperfectjsat.co.jp/>

ご回答メ切

2015年1月5日(月)アクセス分まで



アンケートにご回答いただいた方の中から**抽選で100名様**に、スカパーJSATの2015年卓上カレンダーをプレゼントいたします。なお、発表は発送をもって代えさせていただきます。

カレンダー発送時期

2015年1月中

IR活動のご報告

当社は、証券アナリスト、機関投資家向けに四半期ごとに決算説明会を行っているほか、個人投資家様向けにも毎年全国5カ所程度で会社説明会を実施しています。今年度は9月に札幌、11月には浜松で開催。取締役の仁藤から事業内容や今後の展開を説明し、参加者様からのご質問に回答しております。

また、北米、欧州、アジアの投資家訪問や、証券会社主催のカンファレンスへの参加、英文開示資料の充実等により外国人投資家への理解促進にも努めています。



2014年9月4日開催
個人投資家様向けセミナー(札幌)



会社情報

会社概要

2014年9月30日現在

会社名	株式会社スカパーJSATホールディングス (SKY Perfect JSAT Holdings Inc.)
設立	2007年4月2日
資本金	100億円
従業員数	796名(連結)2014年3月31日現在
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目14番14号
電話番号	03-5571-1500(代表)
URL	http://www.skyperfectjsat.co.jp/

取締役及び監査役

代表取締役会長	西山 茂樹	監査役	坂本 憲昭
代表取締役社長	高田 真治	監査役	平林 良司
取締役	仁藤 雅夫	監査役(非常勤)	勝島 敏明
取締役	田中 晃	監査役(非常勤)	藤田 徹也
取締役	小山 公貴		
取締役(非常勤)	中谷 巖		
取締役(非常勤)	森 正勝		
取締役(非常勤)	飯島 一暢		
取締役(非常勤)	平田 正之		

株式情報

2014年9月30日現在

発行済株式総数 344,603,700株

株主総数 31,288名

大株主

株主名	持株数	持株比率*
伊藤忠・フジ・パートナーズ(株)	76,568,800	24.84%
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	26,057,000	8.45%
住友商事(株)	22,258,400	7.22%
日本テレビ放送網(株)	20,891,400	6.78%
(株)東京放送ホールディングス	18,434,000	5.98%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(三井住友信託銀行再信託分・三井物産(株)退職給付信託口)	13,405,200	4.35%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	5,342,400	1.73%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	4,709,000	1.53%
(株)電通	4,059,400	1.32%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー(常任代理人(株)みずほ銀行決済営業部)	3,491,970	1.13%

上記のほか、自己株式が36,387,600株あります。

* 持株比率は、自己株式を除いて計算しております。

免責事項

本株主通信に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
配当の基準日	期末配当3月31日 中間配当9月30日
取引市場	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	9412
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

お問合せ先

お取扱窓口

証券会社に口座をお持ちの場合、各お取引の証券会社等へお問合せ下さい。
証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記「お取扱店」にてお取次いたします。

お問合せ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

お取扱店

みずほ証券 本店および全国各支店／プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
みずほ信託銀行 本店および全国各支店

未払配当金のお支払

みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほ銀行 本店および全国各支店
(みずほ証券では取次ぎのみとなります)

※支払明細の発行については、上記の「お問合せ先」または「お取扱店」をご利用ください。

【中間配当金のお支払いに関する取締役会決議ご通知について】

従来、「中間配当金支払に関する取締役会決議ご通知」と題した郵便はがきをお送りしていましたが、中間配当金をお支払いする際には、今回よりインターネット上の当社ウェブサイト(<http://www.skyperfectjsat.co.jp/>)にてご案内することになりました。

スカパー! **新基本パック** **1,980円** キャンペーン

キャンペーン期間

2014年10月1日~
2015年3月31日

(お申込み手続き完了分まで)

新規ご加入+新基本パックを同時お申込みで!

ご契約翌月1カ月分の
「スカパー!新基本パック」
視聴料が

1,980円/月
(通常価格3,672円/月)

ご契約1台目+新基本パック

翌月視聴料から **1,692円割引**

※翌々月から通常価格

2台同時契約+2台とも新基本パック

1台目の翌月視聴料から **1,692円割引** ※翌々月から通常価格

2台目以降は視聴料の半額 **1,836円を割引!** ※翌々月以降も半額料金

※スカパー!のご加入には、新規加入料3,024円(税込、初回のみ)と月額基本料421円(税込)が別途必要です。 ※プレミアムサービス/プレミアムサービス光は適用対象外となります。 ※複数台割引との重複適用はありません。(複数台割引の条件を満たす場合は、複数台割引が優先されて適用になります。) ※キャンペーンについて詳しくは公式サイト(<http://www.skyperfectv.co.jp/guide/campaign/kihonpack>)をご確認下さい。

キャンペーンへのお申込み・お問い合わせは下記まで

■お申込方法／スカパー!カスタマーセンター(新規ご加入窓口)(受付時間:10:00~20:00 年中無休)

電話番号

0120-556-365

※おかけ間違いのないように
お願いいたします。

※お客様の個人情報に関する取扱いにつきましては、当社公式サイト上のプライバシーポリシーをご確認いただき、同意の上、お申込みください。

スカパー!新基本パックはアニメや映画、音楽など
47チャンネルが見放題!

こんな方におススメです!

子どもはアニメ、パパは音楽、私は映画と海外ドラマ。**家族みんなで楽しみたいなあ。**

**たくさんの番組・チャンネル
が見たいなあ。**

スカパー!新基本パックなら、47チャンネル
も見られて1Chあたり約80円/月!今なら
割引キャンペーンもあってお得なんだね!

